

～つたえよう！わたしたちのまわりのかたち！～

1年算数科「いろいろなかたち」

1 目標

- ・身のまわりにある立体の観察を通して、形の特徴をとらえたり、仲間分けしたりすることができる。
(知識・技能)
- ・身のまわりのものを色や大きさ、材質に関係なく、形としてとらえている。(思考・判断・表現)
- ・これまでの体験をもとに、身のまわりにある立体図形に親しみをもって関わり、形の特徴に目をつけるよさや学ぶ楽しさを感じようとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

2 単元構想

本単元では、「かたちのくにの王様」とのやりとりを通して、身の周りの箱や筒、ボールを用いて立体を組み立てる活動や、立体の面に着目して写し取った形を生かして絵を描く活動などを行う。この活動を通して、意欲に取り組みながら、ものの形を捉えたり、形の特徴を考えたりするとともに、形に親しみながら学ぶ態度を養う。学習のふり返り【まなふり】では、分かったこと、詳しくなったこと、新たに知りたいことを王様との手紙のやりとりの形でまとめることで、1時間の学びを整理する。単元の最後の【ひろふり】では、これまでの【まなふり】をもとに単元全体をふり返る。【ひろふり】で、各時間の【まなふり】をふり返ることで、形の特徴についてより深く理解することに期待したい。

3 単元計画（全6時間）

時間	学習内容と活動	教師の支援、ふり返りの視点
1 2	<p>・教師が持ってきた空き箱から手紙（手紙の封筒は第5時で再び提示する）が登場する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>—あさひっこねんせいのみんなへ— はじめまして わしは かたちのくにのおうさまじゃ。 みんな さんすうのべんきょうを がんばっているときいたぞ！ そんな みんなに おねがいがあるのじゃ！ わしは いろいろなくにの かたちをしらべておるのじゃ。 ぜひ きみたちのくにの かたちをおしえておくれ！</p> <p style="text-align: right;">おうさまより</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おねがい① はこをつかってどうぶつやのりものをつくるのじゃ！</p> </div> <p>・二人一組になり、持ってきた空き箱を使って作る。 ・完成したものを紹介し合う。 ・授業のふり返りをする。</p>	<p>・形の国の王様からのお願いの手紙というストーリー性を持たせることで、楽しみながら学習を進めることができるようにする。（2学期の「かたちづくり」にもつなげていく）</p> <p>・完成したら、教師が写真に撮る。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ つみかさねられるかたちとつみかさねられないかたちがあるとわかった。 ・ かぶせるをふたつつみかさねて、うさぎをつくりたかったけれど、ころがってつくれなかったよ。 	<p>【まなふり】</p> <p>わかったこと できたこと きづいたこと</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のふり返しをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おねがい② にているところをみつけてかたちをなかまにわけのじゃ！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が用意したものを4人一組で仲間分けをしていく。 ・ 仲間分けをしたものに名前を付ける。 (はこ/つつ・ながぼそ・ながまる/ぼうる・まる) ・ それぞれの特徴について考える。 ・ 自分たちが持ってきた空き箱を箱、筒、ボールの3つに仲間分けをする。 ・ 形の特徴についてまとめる。 箱：積むことができる。かどがある。たいらなところがある。 筒：積むことができる。たいらなところがある。転がる。 ボール：丸い。転がる。たいらなところがない。 ・ 授業のふり返しをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのかたちもはこ、つつ、ぼうるの3つにわけることができる。 ・ はこのかたちはうごかないけれど、まるのかたちはころがることがわかった。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のふり返しを板書し、出来たキーワード「つむことができる」「ころがる」をもとに仲間分けをしていく。 ・ 「積むことができる(箱のような形)」「転がる(ぼうるのような形)」のグループの他に「積むこともでき、転がる(筒のような形)」があることに着目させる。 ・ 次時の活動につながるように形の特徴を整理する。 <p>【まなふり】</p> <p>わかったこと できたこと やってみたいこと</p>
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時のふり返しをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おねがい③ かたちさがしげえむにちょうせんしてかたちにもっとくわしくなるのじゃ！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形探しゲームを4人1組で行い、?ボックスの中に入っている積み木を手で触り、手触りで立体の形の特徴の判別し、自分たちが持ってきた空き箱の仲間分けをする。 ・ 授業のふり返しをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ はこのかたちはかどがちくちくすることがわかった。 ・ ぼうるはどこをさわってもまるかった。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で学習した形の特徴を確認する。 ・ 形探しゲームをして、形の特徴をより理解できるようにする。 <p>【まなふり】</p> <p>わかったこと くわしくなったこと やってみたいこと</p>

<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のふり返しをし、形の特徴や積み木を使ったことを思い出させる。 ・第1時で出てきた手紙をもう一度提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おねがい④ かたちをうつしてえをかくのじゃ！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・写したい形の積み木を選び、形を写していく。 ・写した形からイメージしたものを選んで絵を描く。 ・どんな絵を描いたか発表する。 ・授業のふり返しをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・つつのかたちでたんぶりんがかけるよ。 ・かたちについてもっとしりたいな。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・直方体の積み木を写した形を使って描いた「手紙」を見せ、どの形のどの面を写したか問う。 ・「しかく」「さんかく」「まる」の3つの形は1個ずつ写すことを条件として示す。 <p>【まなふり】</p> <p>わかったこと きづいたこと もっとしりたいこと</p>
<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のふり返しをし、面の形の特徴を利用した絵を描く活動をしたことを思い出させる。 ・単元全体をふり返し、学習したことを整理する。 ・単元のふり返しとして、王様への報告書を書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのまわりには、まる、さんかく、しかくといった、いろいろなかたちがあることがわかったよ。 ・まわりのものは、はこ、つつ、ぼうるにわけられることがわかったよ。かたちのくにのかたちについてもしりたいな。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・一時間ずつ学習内容とふり返ったことを確認する。 ・最後に王様への報告書（やったこと、わかったこと、もっとしりたい）という形で、自分たちの身の周りの形と結び付け、ふり返しをする。

4 本時の指導（4／6）

（1）目標

- ・立体を触って判別する活動を通して、立体の特徴や機能についての理解を深めることができる。

（知識・技能）

（2）授業構想

前時までに子どもたちは、ものの形は箱のような形、筒のような形、ボールのような形があると学習をしている。本時では、形探しゲームを行う。この活動を通して、形を触ったときに気付いた特徴を話すことで立体の特徴や機能についての理解を深めることに期待したい。

（3）準備

教師：王様からの手紙、ふり返しシート、おかしの空き箱、はてなボックス（穴をあけた箱）

積み木（直方体、円柱、球）

児童：筆記用具、ノート

(4) 指導過程


時間	学習活動	指導上の留意点
0	1 前時のふり返しをする。 ○形は、はこ、つつ、ぼうるに分けられることとそれぞれの形の特徴について確認する。 ・はこはつむことができたよ。 ・つつはつむことができるし、ころがることができるよ。 ・ぼうるはまるかったよ。	・形探しゲームをする際に、前時での形の特徴を思い出して学習に取り組めるようにする。
7	2 学習のめあて（おねがい）を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">おねがい③ かたちさがしげえむにちょうせんしてかたちにもっとくわしくなるのじゃ！</div>	
10	4 形探しゲームを4人1組で行う。 ○教師が探す形を示し、手触りで立体の形の特徴を掴み、判別する。	・前時のふり返しで確認した形の特徴や新たに気付いたことをもとに、仲間分けを行うように声を掛ける。
25	5 形をどうやって見付けたのか、発表をする。 ・まんまるだからぼうるだとおもった。 ・はこだから、かどがいくつもあるものをさがした。 ・つつは、まるいところとたいらなところがあったからえらんだ。	・教師が探す形を示し、児童は一人あたり一分半で示された形を箱の中で探し、教師のかけ声で箱から出すように指示をする。 ・形を触ったときに気付いた特徴を児童が話すように促す。
35	6 授業のふり返し、発表をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・はこのかたちはかどがちくちくすることがわかった。 ・ぼうるはどこをさわってもまるかった。</div>	【まなふり】 わかったこと くわしくなったこと やってみたいこと

(5) 評価

- ・立体を触って判別する活動を通して、立体の特徴や機能についての理解を深めることができたか。
(活動の様子・ふり返りの記述から)

(6) 板書計画

めあて かたちさがしげえむでなまわけにちょうせんするのじゃ！

	はこ 箱の写真	つつ 筒の写真	ぼうる ぼうるの写真
とくちょう	<ul style="list-style-type: none"> かどがいくつもある たいらなところがた くさんある 	<ul style="list-style-type: none"> つむことができる ころがる まるいところとたい らなところがある 	<ul style="list-style-type: none"> まるい たいらなところがな い
さがしてき づいたこと	<ul style="list-style-type: none"> つんつんしていた とがっていた 	<ul style="list-style-type: none"> たいらとまるいとこ ろがある つるつる 	<ul style="list-style-type: none"> つるつる まんまる



・はこのかたちは
 かどがちくちく
 することがわか
 った。
 ・ぼうるはどこを
 さわってもまる
 かった。